

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101481
事業所名	グループホーム岡崎若松の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） コロナ過前は側溝掃除や草刈りなどに足腰の丈夫な利用者と出向いていましたが、皆中止で現在は廃品回収への協力ぐらいです。それでもトラックへの積み込みは利用者もはりきって手伝い、有用感を味わっています。介護計画書にも活躍する機会を多くする」と位置づけた人は回覧板の係で、本人も進んで「いきましようか」と職員に声をかけており、地域とは小さくても関わりをつくっています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議はコロナ過の影響で参会はず書面開催ですが、2ヶ月に1回実施は遵守しています。地域包括支援センターや自治会長には議事録を郵送していますが、自治会長は市の広報誌を定期的に届けてくださるので立ち話での情報交換はできています。他のメンバーと会う機会はないため工夫が必要です。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議の議事録を地域包括支援センターに郵送すると、センターが市役所に届けてくださっています。また生活保護受給者の減免などについては担当部署から親切に教えてもらっています。市のグループホーム部会では年1回市役所の指導監査係に質問できる機会を設けており、事業所も欠かさず出席のうえ、適切な運営につなげています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「調理の腕を存分にふるってもらい、さらに男性職員への指南で役割を感じてもらおう」といった事が、隣へ回覧板届けたり、散歩で車いすの人の補助をするなど様々な場面で展開していて、本人の意向を超えてウォンツを引き出していることが十分伝わります。また家族の要望も丁寧に傾聴していることは、家族アンケートでも確認できます。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								

【備考欄】

--